

自ら学ぶ生涯学習の推進

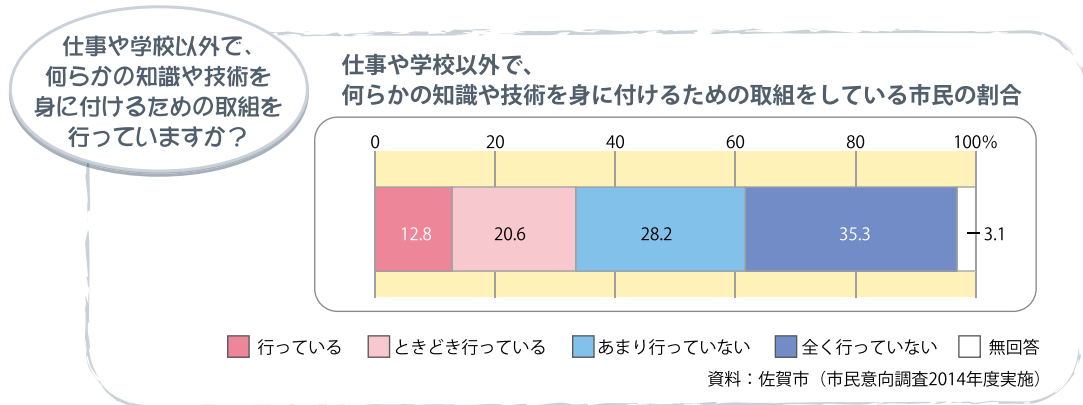
施策統括責任課 | 社会教育課

めざす姿(成果目標)

市民は、身近なところで必要な知識や技術を学ぶことができ、学んだことを社会生活に活かしたり、生きがいを持って暮らしている。

成果指標と目標値

成果指標	現在 基準値(2013)	将来 目標値(2019)	将来 目標値(2024)
仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身に付けるための取組をしている市民の割合	33.4%	42.4%	50.0%
市立公民館及び生涯学習センターの年度利用者数	705,469人	730,000人	750,000人



背景と課題

背景

- 生活水準の向上と自由時間の増大により価値観や生活意識が多様化し、ゆとりや生きがいなど精神的な豊かさへの欲求が強くなっており、市民の生涯学習に対する関心が高まっています。
- 本市では、多様化する市民ニーズに対応するため、公民館や生涯学習センター、図書館などを中心として、学習機会の提供や学習環境の整備などを行い、生涯学習の推進を図っています。

課題

- 多様化する市民のニーズに対し、より効果的、効率的に対応するため、大学や事業者など、他の生涯学習機関などと連携することで、生涯学習の機会を充実させていく必要があります。
- 地域の担い手づくりが重要な課題となっていることから、活動や学び合いを通してリーダー的人材を発掘し、新たな担い手を育成する必要があります。
- 公民館や図書館などの社会教育施設は、利用者のニーズに応じた機能拡充を進め、生涯学習の拠点や交流の場などとして活用していくことが求められます。

取組方針

市民一人ひとりの生きがいづくりや自己実現を図るとともに、個人の学習の成果を地域のまちづくりや様々な課題の解決に活かせるよう、地域と行政が連携した講座を充実させ、市民ニーズに応えられる生涯学習の実現に取り組めます。

施策 5-4 自ら学ぶ生涯学習の推進

取組(基本事業)

1 多様な学習機会の提供

県や大学等との相互連携と役割分担により、生涯にわたって自己啓発に取り組むことができるよう、学習機会の充実を図ります。公民館等においては様々な地域資源の発掘・活用などに努め、活動や学び合いを通じて得た成果がまちづくり活動などにつながるような生涯学習を推進します。また、図書館が担う役割を明確にし、利用価値を高めていきます。

2 生涯学習施設の整備・運営

生涯学習の拠点、交流の場、地域活動の拠点としての円滑な利用のため、地域の実情に応じた施設整備や適正な維持管理に努めます。

関連する計画

- 教育振興基本計画(H27～H31)
- 図書館サービス計画(H21～H27)
- 社会教育の指針(H21～)

